

平成 29 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

町内会概要			
組織名	安心・安全ネットワーク平野	代 表	会長 大平敏 (おおひら さとし)
地域（市町村）	県北（福島市）	加入世帯数 (人数)	2,616 世帯（8,949 人）
(1) 自治会の主な活動 定期総会、地区運動会、全体会議、懇親会、忘年会（29 年度）（地区水害問題）平野水問題意見交換会、認知症サポーター養成講座、認知症等高齢者徘徊模擬訓練、健康体操教室など (2) 自治会の特徴 ＪＲ福島駅から車で 20 分程度にある果樹地帯である一方、国道 13 号や福島飯坂 IC により地域開発が進み、現在では飯坂地域の中で一番人口の多い地域である。中心市街地のベッドタウンである地域であり、そのため高齢者から子どもまで誰もが安全に暮らせるまちを目指していくことが喫緊の課題となっている (3) 今年度実施事業 ひらの あい♥あい事業 (4) 事業の主な活動内容 1.地域での見守り活動のため認知症サポーター養成講座の実施（年 5 回実施予定） 2.認知症の普及啓発と住民同士が協働できる機会を目的とした認知症高齢者徘徊模擬訓練の実施（年 1 回） 3.介護予防と高齢者の健康づくりや集いの場作りを目的とした健康体操教室の実施 (5) 本活動を実施することの背景 地域の社会問題として、高齢化率が福島市の平均よりも早いスピードで進んでいる現状や、震災を機に本地区に移り住む住民も多く、子どもから高齢者まですべての地区住民が安全に安心して暮らせる地区を早急に整える必要性が喫緊の課題となっていた。 <住んでいてよかったと安心できる安全なまちを目指して> 11 月上旬に「第 1 回平野地区徘徊者への声かけ訓練」が行われた。参加者約 130 名が各班に分かれて地区内を歩き、各ポイントにいる認知症高齢者役の方への声かけを行った。訓練の中では、地区内にいる実際の高齢者にも遭遇し「こんにちは」「寒いから気を付けてねー」など優しく声を掛ける場面もあった。会長の大平さんによると、これらの訓練を通して、お互いに気に掛け合い、認知症の方や子ども、支援を必要とする人への“やさしい見守り”へのつなげていけることを目的に、さらには住んでよかった言えるまちを目指して、今後も継続していくとのことであった。			

- ① 風が非常に強く休みの日であったが、多くの町民が集まり声かけ訓練が行われた。



- ③ (左) 平野地区町内会連合会会長 大平敏さんと(右) 同連合会理事(事務局長) 白井秀男さんが中心となって進めている。



- ② (右から2人目) 認知症高齢者役の役員が各ポイントに配置され、参加者は手渡された「声かけのポイント」に沿って声かけをしていた。

